



小学校教科書の「デジタル教材」を活用した授業の 在り方を探る

教育学部附属教育支援センター長 原 丈貴

小学校では令和6年度から新しい教科書が使われるようになりました。新しい教科書においては、「デジタル教材」が増え、その効果的な活用が子どもたちの学習の質を高めることに繋がると考えられています。

子どもたち一人ひとりが所有する「学習者用デジタル教科書」では、記載内容の範読やルビ表示ができたり、インタビュー動画なども視聴できたりするなど多様な活用方法があります。「個別最適な学び」に対応できるようになっており、ワークシートなども学習内容に応じて活用できるなど「協働的な学習」も進めることができます。

この「学習者用デジタル教科書」と教師用の「指導者用デジタル教科書」とを相互に活用することで児童の学習成果を一層向上させることができると考えます。

教育実習や学校現場での基礎体験活動を行う学生たちは、多様な学習方法を効果的に活用する方法等を学ぶ機会を保障することは極めて重要であると考え、実践へとつなげていくために教科書会社の協力を得て講演会を開催しました。

